

# SAFe® for Architects

SAFe® による継続的なバリューフローのためのアーキテクチャ設計

技術戦略をビジネス目標とベクトルを合わせることで継続的なバリューフローを実現し、その戦略を開発チームに伝え、アジャイルアーキテクチャの実践を適用します。

受講者は、SAFe® Architectを取得することで、SAFe リーンアジャイルエンタープライズにおけるコラボレーションとベクトル合わせを向上させることができます。SAFe® for Architectsコースは、システムアーキテクト、ソリューションアーキテクト、エンタープライズアーキテクトが、組織全体で効果的なリーダーおよびチェンジエージェントとして協力し、アーキテクチャのソリューションを提供できるように準備します。この3日間のコースでは、受講者はアジャイルアーキテクトの役割、責任、マインドセットを探求し、アーキテクチャをビジネスバリューに合わせ、大規模なシステムの継続的なフローを推進しながら、SAFeの実行をサポートする方法を学びます。

SAFe® Architect (ARCH) 6.0認定試験付き



# SAFe® for Architects

SAFe® Architect (ARCH) 6.0認定試験付き



## 対象者

- システム、ソリューション、エンタープライズアーキテクト
- 技術系アーキテクト
- 経験豊富なソフトウェア開発者
- アーキテクチャ設計に責任のある技術系マネージャー
- アーキテクトと連携するプロダクトリーダー

## 提供されるもの

クラスへの受講登録により以下のものが提供されます。

- 受講者向けワークブック
- SAFe® Architect 6.0 (ARCH) 認定試験の受験資格
- SAFe Studioの1年間のメンバーシップ (初回受講時のみ)
- コースの修了証明書

## 学習内容

SAFe® Architect (ARCH) の役割を果たすには、以下の能力が求められます。

- SAFe原則を使用するアーキテクト
- アーキテクチャをビジネスバリューのベクトルに合わせる
- アーキテクチャビジョンと意図を策定し伝える
- デリバリーの実現するためにアーキテクチャランウェイを計画する
- 継続的なデリバリーとリリースオンデマンドのためにアーキテクチャを設計する
- PIプランニングおよび実行中にアーキテクトとチームメンバーをリードしコーチングする
- リーンアジャイルトランスフォーメーションの際にリーダーシップを発揮する

SAFe® for Architectsコースは、あらゆるレベルと分野のアーキテクトがリーンエンタープライズにおける継続的なバリューフローを支援し、実現できるようにします。このインタラクティブなシナリオベースの学習体験を通じて、SAFeにおける自身の役割を探求し、組織内の主要なステークホルダー、顧客、協力者を特定し、経済的トレードオフに基づいたアーキテクチャ上の意思決定を実践します。また、リーンアジャイル手法を用いてアーキテクチャの概念をバリューストリーム全体にわたって導くことを体験します。



SAFe® for Architectsコースは、SAFeの導入全体を効果的にリードするだけでなく、アーキテクチャをビジネスバリューと整合させるための実践的な理解とツールを与えてくれました。

— Jeremy Trevatt, トランスフォーメーションリーダー/SPC, BrightEdge Partners



## 前提条件

このコースに参加する方は、アジャイル原則とプラクティスに精通しており、事前に少なくとも1つのSAFeコースを受講している必要があります。



## 取り扱いテーマ

- アジャイルアーキテクチャを具現化する
- DevOpsとリリースオンデマンドのためのアーキテクチャを設計する
- アーキテクチャをビジネスバリューのベクトルに合わせる
- ソリューションビジョン、ソリューションインテント、ロードマップを作成する
- PIプランニングに向けてアーキテクチャを準備する
- PIプランニングを通じてアーキテクチャを設計する
- PI実行中の継続的デリバリーをサポートする
- 新しい戦略テーマとバリューストリームをサポートする
- リーンアジャイルトランスフォーメーションにおいてアーキテクトとしてリードする

## Professional Development Unit (PDU) とScrum Education Unit (SEU)



- プロジェクトマネジメント協会 (PMI) の提供するPMP、PgMP、PMI-ACPの認定取得に向けた継続教育要件を満たすために、24単位のPDUをPMIに申請可能
- Scrum Allianceを通じたCSPの取得または更新に向けて、カテゴリCのSEUを申請可能



コースの受講登録はこちら

# SAFe® カリキュラム

幅広い内容を扱い、進化を続けるScaled Agileのカリキュラムは、SAFeの実装を成功させる上での基礎であり、トランスフォーメーション全体の要となります。世界クラスのコースウェアの豊富なポートフォリオは、組織がビジネスの成果を引き出し、チームを維持し、新しい才能を引き付けるのに役立ちます。そして、デマンドの高い認定は、個人がSAFe組織内で重要な役割を果たし、フレームワークにおける実践、コンサルティング、または他者へのトレーニングを通じてキャリアを進展させるのに役立ちます。



## SAFeの認定試験付きトレーニングコース一覧

- **Implementing SAFe®**  
SAFe® Practice Consultant (SPC) 6.0認定試験付き
- **Leading SAFe®**  
SAFe® Agilist (SA) 6.0認定試験付き
- **SAFe® for Teams**  
SAFe® Practitioner (SP) 6.0認定試験付き
- **SAFe® Scrum Master**  
SAFe® Scrum Master (SSM) 6.0認定試験付き
- **SAFe® Advanced Scrum Master**  
SAFe® Advanced Scrum Master (SASM) 6.0認定試験付き
- **SAFe® Release Train Engineer**  
SAFe® Release Train Engineer (RTE) 6.0認定試験付き
- **SAFe® Product Owner/Product Manager** SAFe® Product Owner/Product Manager (POPM) 6.0認定試験付き
- **SAFe® DevOps**  
SAFe® DevOps Practitioner (SDP) 6.0認定試験付き
- **SAFe® for Government**  
SAFe® Government Practitioner (SGP) 5.0認定試験付き
- **Agile Software Engineering**  
SAFe® Agile Software Engineer (ASE) 6.0認定付き
- **SAFe® for Architects**  
SAFe® Architect (ARCH) 6.0認定付き
- **Lean Portfolio Management**  
SAFe® Lean Portfolio Manager (LPM) 6.0認定付き
- **Agile Product Management**  
SAFe® Agile Product Manager (APM) 6.0認定付き

→ SAFeキャリアの道のりはここから始まります  
[scaledagile.com/calendar](https://scaledagile.com/calendar)

Work Differently.  
Build the Future.

SAFe®  
PROVIDED BY SCALED AGILE